

パプアニューギニア断章

◎庄野 護・著

◎四六判・208頁・定価1575円(本体1500円)

未開と文明のまなざし

「部族社会」が提示する 21 世紀の社会像

丸木船の向こうの海には近代的な鯉船が浮かび、石器の鉞のこちら側にはコンピュータが備え付けられている。伝統的衣装の男たちは、夜には自家発電装置を使ってシルベスタ・スタローンの映画などを吹き替えなしで見ている。コーラを飲み、米の味に目覚めた世代の食生活は、現代の日本人とたいして変わらない。(本文より)

パプアニューギニアは、人類学の定番フィールドとして、あるいは本多勝一を嚆矢とする「未開モノ」ジャンルとして、そして戦後の「戦記モノ」として多く語られてきた。

本書は、<同時代を生きるパプアニューギニア>から首都ポートモレスビーに暮らす人びとを現地報告する。アフガン、イラク問題で立ち現われてきた<部族社会>への理解と見識が現代人にとって必須課題となりつつある今こそ、ニューギニアは語られる……。

【著者紹介】庄野 護 (しょうの・まもる)

1950年徳島生まれ。中央大学中退。1980年代前半よりバングラデシュやネパールでのNGO活動に従事。89年より96年までスリランカの都市スラム開発事業にODA、NGOボランティアとしてかかわる。帰国後、四国学院大学の非常勤講師を3年間つとめたのち、日本福祉大学大学院修士課程を経て、博士課程進学。2001年8月より2年間、JICA 専門家(セトルメント貧困緩和対策)としてパプアニューギニアに赴任。社会福祉開発省 NGO 課ではたらく。日本平和学会会員。著書『スリランカ学の冒険』(南船北馬舎)で第13回ヨゼフ・ロゲンドルフ賞受賞。また『国際協力のフィールドワーク』(南船北馬舎)所収の論文「住民参加のスラム開発」では財団法人国際協力推進協会の第19回国際協力学術奨励論文一席に入選。ほか共著に『学び・未来・NGO NGOに携わるとは何か』(新評論)など。

発行：南船北馬舎 〒673-0012 兵庫県明石市和坂14-6 ステラー 203 TEL078-924-2632 FAX078-924-8478
【Website】<http://www.nansenhokubasha.com/> 【E-mail】info@nansenhokubasha.com

書店さまへ：ご注文は 地方・小出版流通センター(FAX 03-3235-6182)までお願いいたします。

注 文 書 貴店名・帖合	ご注文数	流通センター 取扱品 地小版	発行 南船北馬舎 TEL078-924-2632 FAX078-924-8478	定価：本体1500円＋税
			パプアニューギニア断章 庄野 護・著	
			ISBN4-931246-18-4 C0039 ¥1500E	